

ODIP 4.5 修正パッチ (P1040501006299) リリースノート

2025/7/15

(株) インテリジェント・モデル

ODIP は、(株) インテリジェント・モデル社の登録商標です。

本書に掲載された情報に基づいた行為の結果として発生した損害、利益の損失、経費などについて、(株) インテリジェント・モデルならびに本書の製作関係者は一切の責任を負いません。

本書は著作権法上の保護を受けています。本書の一部あるいは全部を無断で転載・複製することは法律で定められた場合を除き、禁止されています。

目 次

A. 変更内容	4
1. 古いトランスフォーマリポジトリのインポートでエラーになる問題の修正	4
2. job.groupaggr.union.all=false でグループ集計結果が期待値と異なる問題の修正	4
3. 下位 JoinGroup の SELECT 文が実行されない場合がある問題の修正	4
4. スレッドモードで外部 Java プログラムに Connection が渡らない問題の修正	4
5. データソース情報画面に JDBC データソース名が表示されない問題の修正	5
B. パッチ適用による影響	5
C. パッチの適用方法	5
1. ライブラリファイルの更新	5
2. パッチ適用後の確認	6

A. 変更内容

1. 古いトランスフォーマリポジトリのインポートでエラーになる問題の修正

ODIP4.0 以前のトランスフォーマリポジトリのエクスポートファイルをインポートすると、エラーになる場合がある問題を修正しました。

2. job.groupaggr.union.all=false でグループ集計結果が期待値と異なる問題の修正

設定ファイル(odip.ini)の job.groupaggr.union.all が false で、管理単位属性が選択されていない Union2 以降が存在すると、グループ集計の結果が期待値と異なる場合がある問題を修正しました。

3. 下位 JoinGroup の SELECT 文が実行されない場合がある問題の修正

以下の条件をすべて満たす定義を実行すると、下位 JoinGroup で定義したデータ取得の SELECT 文が実行されない問題を修正しました。

<問題が発生する条件>

- ・下位 JoinGroup (例えば JoinGroup1.1) に複数のデータセットが存在する
- ・下位 JoinGroup の 2 番目以降のデータセットと上位 JoinGroup (例えば JoinGroup1) のテーブルとの間にリレーション定義がある
- ・下位 JoinGroup の 2 番目以降のテーブルのリレーション定義の上位 JoinGroup 側の属性の値が null

4. スレッドモードで外部 Java プログラムに Connection が渡らない問題の修正

スレッドモード (-thread オプションを指定して startjob を実行) かつ、設定ファイル odip.ini の "job.invoke.xfunc.single" が false のとき、XFunc 関数の第 4 引数 (Connection インスタンスの要否フラグ) に "Y" を指定しても、外部 Java プログラムに渡す Connection の値が null になる問題を修正しました。

5. データソース情報画面に JDBC データソース名が表示されない問題の修正

データソース情報やトランスフォーマリポジトリ情報の画面で、JDBC データソースの場合、データベース名列にデータソース名ではなくプロバイダ名が表示され、DBMS/JDBC データソース名列にプロバイダ名ではなく DBMS 名が表示される問題を修正しました。

B. パッチ適用による影響

既存の定義への影響はありません。

C. パッチの適用方法

本パッチは、次の ODIP 製品に適用してください。

- ☐ ODIP アドミニストレータ v4.5
- ☐ ODIP オペレーションマネージャ v4.5
- ☐ ODIP リポジトリマネージャ v4.5
- ☐ ODIP プロセスマネージャ v4.5
- ☐ ODIP リポジトリサーバ v4.5
- ☐ ODIP トランスフォーマ v4.5

1. ライブラリファイルの更新

実行中の ODIP 製品を終了し、ODIP_P1040501006299 フォルダに格納されているライブラリファイルを、表 1 のファイルのコピー先に上書きコピーしてください。

表 1 ODIP_P1040501006299 のフォルダ構成及びファイルのコピー先

ODIP_P1040501006299		ファイルのコピー先
	lib	
	ADM	ODIP アドミニストレータの lib フォルダ
	OPM	ODIP オペレーションマネージャの lib フォルダ
	RPM	ODIP リポジトリマネージャの lib フォルダ
	RPS	ODIP リポジトリサーバの lib フォルダ

	TFM	ODIP トランスフォーマの lib フォルダ
--	-----	-------------------------

2. パッチ適用後の確認

パッチ適用後は、各製品を起動し、表 2 の確認方法に従って確認を行ってください。

表 2 パッチ適用後の確認方法

製品名	確認方法
ODIP アドミニストレータ	ヘルプメニューから“ODIP について”を選択し、表示されたすべてのビルド ID が 1040501006299 であることを確認してください。
ODIP オペレーションマネージャ	
ODIP リポジトリマネージャ	
ODIP プロセスマネージャ	
ODIP リポジトリサーバ	ODIP リポジトリマネージャのツールメニューから“ORMS サーバ情報”を選択し、“バージョン情報”タブを開き、表示されたすべてのビルド ID が 1040501006299 であることを確認してください。
ODIP トランスフォーマ	ODIP トランスフォーマを起動し、showserver コマンドを、オプションに“-info version”を指定して実行してください。表示されたすべてのビルド ID が 1040501006299 であることを確認してください。

以 上